

成績通知票について

成績通知票は、教務課で作成し、各学科の教務担当委員を経由して配付します。

評価の欄には、秀、優、良、可、不可、未履修、認定、履修中のいずれかが表示されていますが、それぞれの意味は次の通りです。

| 評 価 | | 点 数 | G P |
|-------|-------|----------------------------------|-----|
| 合 格 | 秀 | 100 ～ 90点 | 4 |
| | 優 | 89 ～ 80点 | 3 |
| | 良 | 79 ～ 70点 | 2 |
| | 可 | 69 ～ 60点 | 1 |
| 不 合 格 | 不 可 | 59点以下 | 0 |
| | 未 履 修 | 受験資格がなかった場合 (履修を放棄した場合も含む) | なし |
| 認 定 | 認 定 | 入学前または在学中に 他の学校で取得した単位を認定した場合 | なし |
| | 履 修 中 | 通年の科目で履修中の場合 | なし |

※「成績通知票」の記載内容についての疑問がある場合は、すみやかに教務課にお問い合わせください。

※「成績通知票」は在学期間中保管し、卒業及び資格取得のための単位が充足できているか、各自で確認してください。

※「G P」とは、Grade Point (グレード・ポイント) の略です。以下のG P A算出のために、授業ごとの成績評価 (秀・優・良・可・不可) に対して「4・3・2・1・0」でポイント化しています。

G P A (Grade Point Average) について

・G P AとはGrade Point Average (グレード・ポイント・アベレージ) の略で、履修したG P A対象科目の成績の1単位あたりの評価の平均値です。この数値が高ければ、全体としてそれだけ優秀な成績を修めたこととなります。言わば、G P Aは自己の学修の程度を、取得した単位数＝「量」ではなく、G P Aという数値によって学修の「質」を評価する成績評価方法です。

・算出方法は以下の通りです。

$$G P A = \frac{(G P A \text{ 対象科目の } G P \times \text{ 単位数) の 総和}}{G P A \text{ 対象科目の 単位数の 総和}}$$

・G P A対象科目には、不可となった科目は含まれません。未履修及び認定科目は含めません。

・G P Aは、1年次及び2年次の後期試験終了後に、それまでに成績が確定した科目を対象に通算G P Aを算出し、学生への成績指導や奨学金選考の際の基準として使用しています。

・成績通知票や成績・単位修得証明書への記載はしていません。

・G P Aは、学生の皆さんの主体的な学修を推進するためのものです。皆さんが、将来を見据えた学修計画を立て、それに基づいて一人ひとりが授業に積極的に参加し、継続して学力の向上に努めることを期待しています。授業中だけでなく、授業前・授業後にも十分に予習や復習をして、確かな知識・技能・学力を身につけるよう努めてください。